

『ESD 研究』第9号の投稿募集について

日本 ESD 学会誌『ESD 研究』（以下「本誌」）への掲載論文を下記のとおり募集します。応募にあたっては事前に応募登録（締切：2025 年 11 月 6 日(木)）が必要です。会員各位の積極的なご投稿をお待ちします。

1. 投稿内容：

投稿対象とする論文は、ESD の研究や実践に関する成果や課題を内容とする以下の論文とする。

- ①原著論文：理論研究・実践研究・政策研究・教材研究などに関して独創的で、かつ今後の研究や実践に有用な知見をもたらすと考えられる学術論文。なお、これには授業実践に対して分析、考察を加えた論文を含む。
- ②総説論文：特定の分野やテーマに関する内外の研究・実践・政策などを広く検討しながら、独自の視点から課題や論点を提起し整理した学術論文。
- ③研究ノート：上記①②に発展する可能性のある論文で、学術的な研究や調査の成果や課題を中間的に整理検討した論文。
- ④実践ノート：授業実践や学校の取り組みのほか、地域や市民組織などの実践を客観的に整理検討した論文。
- ⑤報告：授業等の実践報告、会議や研修会の開催報告等。

2. 投稿資格：

- ・執筆筆頭者は 2025 年度までの会費納入済みの日本 ESD 学会（以下「本学会」）会員に限る。共著原稿の場合には、執筆筆頭者以外は、この条件に該当しない者を含めることができる。
- ・団体会員が投稿する場合は、投稿者はその組織団体の常勤職にあることを原則とする。ただし、投稿原稿が共著の場合は、執筆筆頭者

以外に非常勤職を含めることができるものとする。

3. 投稿条件：

- ・本誌に投稿される原稿は、ESD の研究や実践に資する内容を有し、他の刊行物に未発表のものとする。ただし、以下の原稿等（加筆修正したものを含む）については、初出の明記や著作権の確認を条件に未発表のものとみなすことができる。

- ①各種学会が主催する大会等での発表要旨、口頭発表、配付資料など。
- ②政府、地方自治体、研究機関、各種団体等の委託研究調査の報告書等に収録されたもの。
- ③その他の講演会、研究会、シンポジウム等での発表要旨や配付資料など。
- ④その他、編集委員会が認めたもの。

4. 原稿の分量：

- ・「原著論文」および「総説論文」は、10 頁（空白部分などを含め 17,600 字相当）以内
- ・「研究ノート」「実践ノート」および「報告」は 8 頁（空白部分などを含め 14,080 字相当）以内
- ・これらの分量には、英文要旨の字数を含まない。

5. 使用言語：

- ・原則として日本語または英語

6. 審査方法：

- ・日本 ESD 学会誌『ESD 研究』査読規程により審査する。